

平成30年4月吉日

会員会社代表者各位

製造技術部・品質管理部・設計部担当役員様

研究開発部・エンジニアリング部担当役員様

株式会社 自動車部品会館

(協賛(一社)日本自動車部品工業会)

## 「成功する品質管理とは」

～企業経営品質の向上に繋がるIoT/AI時代の品質管理～

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当社の事業につきまして、ご高配ご協力賜わり厚く御礼申し上げます。

日本企業は、完璧な製品を作る真摯な品質追求姿勢と、モノづくりへのプライドと愚直なまでの努力の積み重ねで、世界に「Made In Japan 品質」の信頼を勝ち得てきました。しかし、大変残念な事に、最近では偽装や粉飾などの残念な事象がニュースを賑わせております。

今回、企業倫理から行動指針に分解し、モノづくりの現場のみならず、企業全体を使命感に満ち溢れた組織とする手法、性悪説契約社会においても日本的善意を両立させる手法、また、万が一不誠実な事態が発覚してもそれを早い時期に検出できるガバナンス手法、など経営品質全般を俯瞰する内容のセミナーを「成功する品質管理とは」～企業経営品質の向上に繋がるIoT/AI時代の品質管理～のテーマにて平成30年6月7日(木)に開催いたします。

研修内容の詳細は、別紙のとおりでございますので受講をご希望される方は別紙受講申込書により、平成30年5月31日(木)までにお申込下さいますようお願い申し上げます。

敬具

I. テーマ

**「成功する品質管理とは」**

～企業経営品質の向上に繋がるIoT/AI時代の品質管理～

II. 講師：

技術士事務所テクノナコード

代 表 矢 野 知 隆 氏

III. 日 程

開催日時：平成30年6月7日(木)

(午前10時00分～午後5時00分まで)

IV. 開催場所：自動車部品会館 601会議室(6階)

東京都港区高輪1-16-15(同封地図参照)

電話03-5422-6351

V. 受講料：36,000円【税込】(テキスト・昼食代を含む)

(JAPIA会員会社は21,600円【税込】)

---

◎ 申込要領

①受講申込書に受講者の会社名、住所、電話、所属、役職名及び氏名を明記して、5月31日(木)(必着)までにFAX又はメール及び弊社ホームページよりお申込ください。折り返し申込受付票をお送りいたします。万が一お申込み後に参加を取り消す場合は、必ず下記にご連絡下さいますようお願い致します。

②受講料の請求書を郵送致しますので、銀行振込にて5月31日(木)までにお支払ください。(振込手数料は貴社でご負担頂きますようお願い致します)

③受講希望者が収容定員(20名)になり次第締め切りとなります。

★参加お申込み後のキャンセルは5月31日(木)までといたします。以後のキャンセルはお受けいたしかねます。代理の方にご出席いただくか後日テキストを郵送させていただきます。

★受講希望者が少数の場合は、中止となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

◎ 申込先および問い合わせ先

自動車部品会館 総務部 飯島 電話：03-5422-6351

[ijjima@japia.or.jp](mailto:ijjima@japia.or.jp)

# 「成功する品質管理とは」

～企業経営品質の向上に繋がるIoT/AI時代の品質管理～

## I. 研修関連

### ★ 研修の趣旨

ここ数年、残念な事に日本企業、日本の製品への信頼が薄れ始めています。

今まで日本企業は、完璧な製品を作る真摯な品質追求姿勢と、モノづくりへのプライドと愚直なまでの努力の積み重ねで世界に「Made In Japan 品質」の信頼を勝ち得てきました。しかし、大変残念な事に、最近は偽装や粉飾などの残念な事象がニュースを賑わせております。日本の企業は、「Made In Japan 品質」のプライドを無くしてしまったのでしょうか？そんなことはないと思っています。

ただ、今まで日本企業は、品質管理問題に関して、ものづくり現場の強さを過信し、品質保証部門を中心とする現場に丸投げし、「何故このような品質課題が日本の企業で発生しているのか？何故そのような事態になってしまったのか？今後どうすべきなのか？」等の品質課題について、経営、設計、製造、調達、販売に関わる楷書組織全ての部門で、取り組む姿勢が希薄だった側面も否定できません。

本セミナーは、全社的に品質管理について考えるきっかけ・気付きになる事を目的としています。従って、従来型のセミナーで見られがちであった「単に品質管理のツール群の使い方」を復習するようなプログラムではありません。プログラムとしては、企業倫理から行動指針に分解し、モノづくりの現場のみならず、企業全体を使命感に満ち溢れた組織とする手法、性悪説契約社会においても日本的善意を両立させる手法、また、万が一不誠実な事態が発覚してもそれを早い時期に検出できるガバナンス手法、など経営品質全般を俯瞰する内容をセミナーの論点としています。

更に、世界の潮流である「industry4.0、society5.0、中国製造 2025、などの新たなものづくりの枠組み、即ち、センサー、IoT、AI、CPSなどのITを駆使した企業横断の品質保証の仕組み」への対応として、これら新潮流を、どの様に品質管理の観点に日本企業として昇華するかの手法も論点とする内容となっています。

### ★ 研修内容

第一部 品質周辺の日本企業の現実、最近事例から考える。（1時間）

（1）昨今の品質問題事例分析

偽装粉飾はなぜ起きるのか？ 契約齟齬はなぜ起きるのか？

(2) 根本的な原因とは？

## 第二部 改めて品質管理手法の復習、企業理念から行動指針を作る（1時間）

(1) 品質管理とは

(2) 経営品質に結び付く品質管理・改善手法とは

- ①従来型品質管理手法レビュー TQM、TPS、6シグマ、JQA、公差設計、など。
- ②重要なプロセスでの品質の作りこみと客観的データ使用による品質の見える化。
- ③品質管理の経営品質への落とし込み。

(3) 企業理念と行動指針と品質管理の関係

## 第三部 新たな潮流の再確認とPDCAの大ループの構築（2時間）

(1) 世界各国の第4次産業革命対応とは

(2) IoT、AI、CPS がもたらす新たな品質管理とは

(3) 生産PDCAを、消費回収にまで広げる意味とは： 和風総本家 made-in-Japan 方式

(4) 自動車部品産業として取り組むべき一つ案： 3層方式=センサー測定情報の公共性

## 第四部 グループワーク（2時間）

(1) 自社の企業品質確保のシナリオ、シンプルストーリーを立案。

(2) コーポレートステートメント=理念、行動指針、具体的施策、の階層分解と品質管理。

## II. 講師

**矢野 知隆**

コンサルビューション株式会社 パートナーコンサルタント

技術士事務所テクノナコード代表、(株)いちシニアコンサルタント、海外支援 JOSH 理事

1981年(株)日立製作所入社。電子デバイス事業部で、世界初の全自動無人量産ラインの開発、経営企画本部でキャッシュフロー経営、トヨタ生産方式の現場徹底等を行う。

2007年から(株)日立ディスプレイズCIO、モノ作り推進責任者、業務改革本部長として、会社経営の徹底軽量化、品質管理の仕組み作りを指導。

2012年から(株)で、中国、チェコ、台湾、フィリピン、韓国、欧州、米国他で生産と販売拠点を設立し、モノづくり、経営管理、SCM、販売管理、品質管理の導入と運用の定着を指導。

2015年から独立技術士事務所として複数企業の経営課題の対策を指導。

日刊工業新聞連載「技術士の視点」、技術解説「プロジェクトマネジメント」、  
IE学会総会 基調講演、 JMA 総会基調 講演、 経営工学会 解説講演  
複数ソリューション企業 ユーザー会招待講演、 複数大学 品質保証特別講義 など



# FAX 03-3447-5372

自動車部品会館 飯島宛

2018年6月7日

「成功する品質管理とは」申込書

---

申込日：           年    月    日

---

会社名：

---

送り先住所： 〒

---

TEL：

---

FAX：

---

メールアドレス

---

所属・役職：

---

氏名：

---

ローマ字：

---

よみ：

---

備考：

---

※申込書受付票を折り返しFAX致しますので、必ずFAX番号もご記入ください。